
無題-12d1

碧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

無題 - 12d1

【Nコード】

N8011K

【作者名】

碧

【あらすじ】

強くもないのに強い振りなんかして、自分と折り合いを付けられなくて、やっぱり無理がきてしまった
みたいなの。

(前書き)

本当に大切なヒトの前では、格好悪くても素直にキモチを伝えるのが大切なんだと思ってみた

ワタシが小さな子供でワガママが許されるなら泣いて、わめいて引き止めたいよ。

人目なんて何も気にする事なく大声で泣きじゃくってキミを引き止めたい。

そんな、ぶざまな姿ほどキミの心に響いたり、キミの記憶に留まったりするのかもしれないね。

でもワタシには出来なかった。強い女性になんてなりたかった訳じゃないし格好悪くたって情けなくなつて、キミがワタシには必要なんだとキミが、どれだけ大事なのか知って欲しかった。

でもワタシには出来なかった。心の中に大きすぎる傷を隠しつつサヨナラをした。

キミはワタシを強いヒトだと思ってるかもしれないネ。けどね、やっぱり無理はイケナイね・・

夜になると息が出来なくなつて眠れなくなるんだ。

無性に怖くなつて、どうしようもないんだ。

死んじゃうの？つて。

きつと心が悲鳴をあげているんだね。

あせつて窓を開けて深く呼吸をしてみる。

ちゃんと呼吸は出来る。安心してみる。

そして、またベッドに戻り眠ろうとすると上手く息が出来なくて部屋の中が息苦しく感じてしまつて、また窓を開け深く呼吸をしてみる。そんな事を繰り返し返して朝を迎える。

こうして、いつか静かに眠りにつける日が、やって来たなら、その時、初めてキミとの事がワタシの中で消化していくのかな。

(後書き)

もし、また大切なヒトに巡り逢えた時は、後悔の少ない恋愛をした
いかな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8011k/>

無題-12d1

2011年1月27日12時06分発行